

■After 建築名称 下段:英語名	郭巨山会所(かつきよやまかいしょ) Kakkyoyama		
建築用途	大分類 集会施設	小分類 町会所	
改修設計者	建築:魚谷繁礼建築研究所、構造:柳室純構造設計 URL		
所在地	京都市下京区四条通西洞院東入郭巨山町	Google Map	
改修年	2022年		
建築規模	延べ面積:119.02㎡, 木造+鉄骨造 地上3階		After 母屋と土蔵の屋根をつなぐように増築
掲載書誌	新建築2023年4月号		
賞・選定	2023年度日本建築学会賞		
概要 after	京都の祇園祭で巡行する山鉾の1つである郭巨山会所の増改築プロジェクト。京都市の条例で保存対象建築となり、建築基準法適用除外として増築を実現した。		
■Before 建築名称	郭巨山会所(かつきよやまかいしょ)		概要 before
建築用途	大分類 集会施設	小分類 町会所	
■写真 Before	After 既存部区別しつつ全体として統一感ある増築部分		After 以前は外部に面していた蔵の入口を内部化
			
撮影者 提供者	撮影者 提供者	柳沢伸也(2024年)	撮影者 提供者
■リノベーション内容	キーワード 増築、補強、合体、 基準法適用除外	内容 明治40年に建造された郭巨山会所は、京都祇園祭の歴史を継承する歴史的建築物の意匠性と、木造平入り2階建ての建造物的な価値により、京都市の条例で保存対象建築となった。そのため、建築基準法適用除外となり、地震や火災に対する対応を行った上で、増築が許可された。既存の母屋と土蔵を残しつつ、その間に大屋根をかけて、延べ床面積を拡張し、水まわり等を改修して、現代的なニーズに適合させた。2階母屋の格天井や欄間、長押などを保存している。 構造は、既存の伝統木軸木造は保持しつつ、梁間方向に鉄骨耐震フレームを設置。鉄骨は木柱(120角)と同等寸法(H-125×125)を採用するなど、既存の建物に対して配慮を行っている。 現在、他の山鉾町の会所の多くは、建替等によりマンションやビルの一部を会所としている中、京都の伝統的な建造物の価値を再確認し、保存と増築によって伝統継承を行った。建築基準法の適用除外した事例としても、興味深い。	
■備考	京都市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例 https://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000157989.html		
■作成者 氏名/所属	柳沢伸也/JIA再生部会		作成協力 魚谷繁礼建築研究所